

感動一点の場

『静物』

1955年 小川原 脩 画

色使いを楽しんでいるような絵である。暖色系の絵の具絵を基調として、パッチワークのように絵の具を置いている。

賑やかといってしまうようなのだが、色調のバランスはなるほど小川原流だと感心してしまう。

ちょっと見た目には「静物」というタイトルに違和感を覚えるのだが、花瓶か鉢植えの水仙の花が印象的だ。

キャンパスの裏書に「静物、五の二おがわらおさむ」とある。アソビゴコロか？



カタクリのピンクとエゾエンゴサクの青のコンビネーションが美しい時季となりました。新緑の中の美術館と風土館、お出かけください。

展覧会のお知らせ

常設展 小川原脩生誕100年記念

「小川原脩 自伝風な展覧会 - 私が歩んできた道 - 」開催中

東京美術学校時代から80歳代までの代表作を年代順に展示し、その時どきの絵の変化をご観覧いただきます。5月29日(日)まで開催。

企画展示「横山文代展 - 光・風 透明感のある風景」開催中

しりべし旅日記でおなじみの横山文代さんが描いた、後志の風景画を中心とした作品を展示しております。5月29日(日)まで開催。

風土館から「スミレの特別展」

このたび、千歳市在住の専門家からスミレの標本の寄贈がありました。

広く分布するなじみの深い種から特殊な場所で見ることができない珍しい種まで、約60種の国内のスミレが含まれています。

スミレは早春を代表する花としてとても人気があります。風土館では寄贈された標本をお披露目するために、今月の下旬から来月にかけて特別展と、標本の寄贈者である専門家による記念講演会の開催を企画しています。



来月の広報では詳細をお知らせすることができそうです。どうかご注目ください。

おことわり

今月号から紙面構成を一部変更しています。14ページに「ふるさと探訪」と「町長室から」16ページに「ミュージアム通信」を移動しました。「博物誌」はしばらくお休みします。

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎ 21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎ 22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

開館時間は9時～17時(入館は16時半)
5月の休館日 10、17、24、30、31日

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

春の企画展 1

「木田金次郎の真骨頂」開催中

春の企画展 2

「もうひとつの木田金次郎」

5月22日(日)まで

美術館講座「ふたつの木田金次郎」

5月14日(土)午後1時から

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

「西村計雄の 水辺の旅」開催中

「親子で楽しむ展覧会 コレクター気分！」開催中

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

「恋と芸術の相似曲線」開催中

海と山と田園と - ミュージアムロード情報 -